

みればわかる「横山華山」

東京ステーションギャラリー（JR 東京駅） 2018. 09. 22～11. 11



「横山華山」(1781/4～11.11)は、江戸時代後期に京都で活躍した人気絵師で、多くの流派の画法を身につけて画壇の超流に左右されない、自由な画風と筆使いで画題に合わせて自由自在に筆をとり、他の絵師たちに多大な影響を与えた。

本展は、「華山」の多彩な画業を系統立てて紹介する初めての回顧展で、師匠「曾我蕭白」(そがしよはく)や弟子たちの作品「100点余」で、海外のボストンやロンドンの美術館に渡った作品も里帰りして、「華山」の全貌を掘り起こしてその魅力に光を当てる企画として開催されている。

横山華山 《祇園祭礼図鑑》 上下巻合わせて約30m 一挙公開！



<見どころ>

1. 天才は天才を呼ぶ！ 「蕭白」と「華山」の作品を並べて展示。
2. 海外から優品が里帰り！ 明治時代に海外へ渡った「7点」の公開。
3. その自由さからくる近代性を身よ！ 画伯の自由な表現が見物。
4. 風俗画の細かな描写は画伯の真骨頂。見ればわかる。！